

人はささいな事で喜べる

事務師が地袋にまつた所　　↓　地袋の駅を

傍用した　駅の地下には大きな杭が有り

そこにも圧れて食事をしている　　↑　食のすう有

体格のすの男所がいた　着ているものはい

こねてボロボロだ　おもしろう折折は

料亭のまうだ　通りがわりの何となく見まし

子に

ひよつと　↑　指さるゝもしとを　でまはる

しかやるといふ　いそいで通りあぶたと思ふ

いづもその男佐の食事場を貸すから事務師の

通つていた

人は外観を反心し　他平気の役職に変化する

地袋にカニシヤイト　66が去来した　二十階の

全フロアをかりあつていた社長がいた

廊下であつた時　会釈するといふかえんか　うそ

が　それだ社長が怒だ

社長はなる以外は何も知らずいふ社長にうそと

社長の顔はなるのであろうか

社長はさうと社長を尊敬し自分もいひ復した

手いと思つていのかとこれか

社員をとりよるときの方針が

節務会の役といふのは重要な

彼女はまたたか、人だ、あ

いい、あつとそう思つてい

あ、橋、ル、ル、の、を、そ

として情がかう、彼女、は、

会社の中では、おとなと

あ、と、ま、方、で、彼、女、

約、業、の、人、は、あ、る、い、

行、つ、て、い、ろ、う、と、い、

と、取、り、上、り、た、

彼、女、は、初、め、で、少、し、役、

を、つ、た、